

# 常任委員会の審査概要

## 建設生活



9月定例会の委員会審議について報告をいたします。委員会の審議案件は7件でした。第53号議案 市道の路線認定及び廃止については、道路の移管と廃止路線の地権者の廃止の意向確認があり、全員賛成でした。

第54号議案 工事請負契約の締結については、最低制限価格の設定と調整池完成時の治水効果を確認し賛成全員でした。

第56号議案 平成19年度吉川市一般会計歳入歳出決算の認定については、  
①市民参画の考え方  
②自治会加入率  
③ごみ減量目標値と達成度  
④市内農家への補助内容  
⑤東埼玉テクノポリスの拡張事業

⑥洪水ハザードマップ  
⑦道路維持費の減額理由  
⑧中川、江戸川、大場川の治水事業の進捗状況  
⑨周辺地区整備事業の都市計画決定の時期・指標  
⑩中央土地区画整理事業の進捗状況と見直し  
⑪越谷吉川線の進捗と負担は等の質疑があり、以下の答弁

がありました。

①既存の補助団体は自主的な財源確保や自助努力、自立に向けて支援します。

②全91自治会の全体加入率は79・4%で最低は45%、最高は100%です。

③一人当たり897gの目標に対し895・5gで、総資源化率は18・42%の目標で19・83%、最終処分量は1972tの目標に対して2193tです。

④認定農業者支援事業補助金200万円、家畜伝染病防除対策補助金、水田農業活性化補助金です。

⑤都市計画の順位付けて、武操周辺地域が1位、東埼玉テクノポリス拡張は2位となり、20年度は開発手法等を検討・研究します。

⑥9月1日に自治会に1部配布し、地域版は地震ハザードマップとあわせ来年4月頃に全戸配布を予定。集中豪雨の道路冠水箇所は、早い時期にホームページに掲載します。

⑦補修工事個所は6か所で、施設修繕料等が減少しています。

⑧江戸川堤防強化対策事業が

平成16年度に着手し、概ね10年で完成予定。中川改修は平成18年度着手し、平成22年度の完成を目指し、大場川は東大場川合流地点まで完成し、今後三郷市内の二つの橋梁拡幅工事の完了後、吉川区間の改修に進む予定です。

⑨平成22年度を目標とし新駅設置、資金計画、地権者の合意形成が重要です。

⑩使用収益は全体面積約74・8haのうち、19年度末では40・1haで進捗率は54%。事業費は全体が144億4千万円で、19年度末では69億5千100万円で進捗率48%です。

⑪8月末の進捗は用地買収済み2件、物件調査済み9件です。事業計画では総事業費65億円のうち市負担は約4億5千万円です。等の答弁があり賛成多数で認定されました。

第58号議案 平成19年度吉川市下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定については、未接続の理由はとの質疑があり、費用負担、家の建替え時に行うなどが理由との答弁で賛成全員でした。

第60号議案 平成19年度吉川

市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定については賛成全員の認定でした。今年度の補正予算関係では

第63号議案 平成20年度吉川市一般会計補正予算(第2号)担当分は、

①市内犯罪の発生状況  
②越谷吉川線の進捗率と建物移転状況

等の質疑があり、答弁として①平成19年は1204件で、昨年比較では増加しています。自転車盗、車上ねらい、街頭犯罪、器物破損が犯罪内容です。

②今年度は、さくら通りから約200mの道路築造工事予定で建物移転補償契約は約7割が終えています。との答弁があり賛成多数で可決しました。

第65号議案 平成20年度吉川市下水道事業特別会計補正予算・第67号議案 平成20年度吉川市農業集落排水事業特別会計補正予算では賛成全員で可決されました。

都市建設部及び市民生活部所管の広範な審議でしたが、長時間にわたる慎重な審議内容でした。